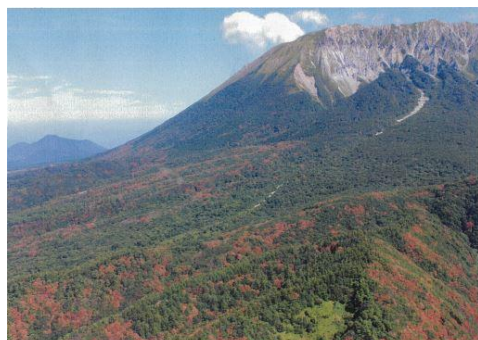


令和2年度大山地域でのナラ枯れ被害対策について

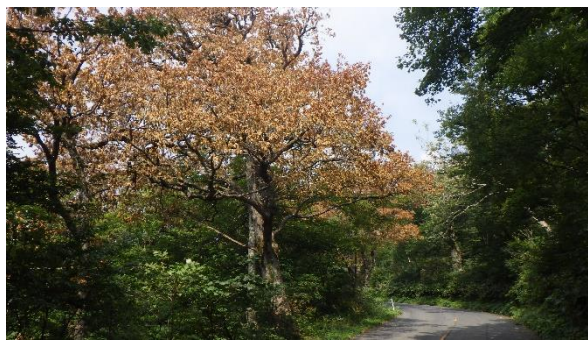
大山地域の国有林では平成25年にナラ枯れ被害が確認され、同年から被害木の駆除事業を実施しています。

令和2年度においても、国有林の被害状況を踏まえつつ、鳥取県ナラ枯れ被害対策協議会の方針に基づき、被害木からカシノナガキクイムシが大量脱出する前の駆除対策と、ナラ枯れの原因となるナラ菌を媒介するカシノナガキクイムシを捕獲する等の予防対策を実施しました。

事業実施にあたっては、関係機関、地元関係者及び観光者の方々に多大なるご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。



【大山周辺の被害状況】



【大山環状道路沿線の被害状況】

1 駆除対策について

(1) 春駆除

令和元年の被害木のうち1,346本(令和元年秋期278本駆除済み)について、カシノナガキクイムシが羽化・飛翔する時期(5月末)までに駆除を実施しました。

作業種	数 量		備 考
	本数	幹材積	
立木くん蒸、伐倒・搬出外	1346本	711.03m ³	春駆除 (令和元年被害木)

(2) 秋駆除

令和2年の被害木のうち、大山環状道路等沿線に位置する被害木163本の駆除を行いました。

こちらの事業については、被害木の早期の駆除、通行車両や森林散策者の安全確保及び紅葉シーズン前の景観対策を目的として、伐倒作業については10月中旬までに、その他の駆除作業については11月末までに実施しました(残りの被害木については登山道沿いのものを中心に令和3年5月末までに駆除を予定)。

作業種	数 量		備 考
	本数	幹材積	
伐倒・搬出、伐倒くん蒸外	163本	106.27m ³	秋駆除 (令和2年被害木)



【作業前(伐倒・搬出)】



【作業後(伐採・搬出)】



【立木くん蒸_穿孔作業】



【伐倒くん蒸_くん蒸中】

2 予防対策について

予防対策については、ペットボトルトラップ法を用いたカシノナガキクイムシの捕獲と、ナラ健全木を保護する立木ビニールシート被覆を設置し被害の蔓延防止を図りました。

作業種	数 量	備 考
ペットボトルトラップ法 (カシナガトラップ)	179基(立木55本)	カシノナガキクイムシ捕獲数 約52万頭
立木ビニール被覆	24本	大山環状道路沿線



【ペットボトルトラップ法】



【立木ビニールシート被覆】

令和2年度は、ナラ枯れ被害の拡大に適した自然条件(暖冬、夏期の少雨、猛暑)が重なったこともあり被害に拍車をかける結果となりました。

来年度に向けて、より戦略的な被害対策を検討(被害木の確実な駆除、被害の未然防止対策など)し、被害の早期終熄に向けて取り組んで参ります。

【参考データ】

◆大山地域でのナラ枯れ被害数量の推移

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
幹材積	171m ³	583m ³	1,539m ³	1,215m ³	1,504m ³	918m ³	2,251m ³	3,261m ³
本数	140本	656本	2,229本	2,079本	2,801本	1,263本	3,856本	6,700本

※平成28年度以前は駆除数量を計上

令和3年5月27日精査のうえ一部修正

◆ペットボトルトラップ法によるカシノナガキクイムシ捕獲数の推移

年度	H29	H30	R1	R2
設置基数	187基	121基	159基	179基
捕獲頭数	59万頭	46万頭	65万頭	52万頭